



令和8年度
第65回関東甲信越静地区造形教育研究大会

栃木大会

大会一次案内

大会テーマ

「楽しいが続く 創造の旅」

会期 令和8年8月19日（水）

会場 ライトキューブ宇都宮

本大会ではテーマを「楽しいが続く 創造の旅」と設定しました。
造形教育において、楽しいと感じる瞬間は、子どもたちが自由に考え、
表現できる場が保障されているときに生まれます。

「楽しいが続く」ということは、未来を生きる子どもたちが生涯にわたって
学び続ける力を育むために必要な教育実践の一環だと考えます。
「創造の旅」とは、造形活動を繰り返しながら、その過程で得られる
達成感や学びの積み重ねが、子どもにとって自己肯定感や未来への自信と
なり、新たな挑戦へと繋がっていく子どもの成長の姿をイメージしました。

本大会では、子どもたちが「楽しい」と
感じる学びを通じて、個性を発揮し、協働し
て未来を創り出す力をどう育むかに焦点を当
て研究を進めています。

大会ホームページ



分科会では各テーマに沿った授業についてまとめ発表します		栃木県・各都県		
分科会	分科会テーマ	校種	指導助言者	県外
1	「主体的な学び」に向けた授業改善 創作活動や鑑賞活動を通して新たな気付きや発見があり楽しいと感じたとき Keyword 題材設定の工夫、導入の工夫、つくり・つくりかえ・つくる (試行の連続) 題材の主題設定、材料や教材、友達との関わり (気付きや発見の連鎖)	小学校	栃木県 総合教育センター 指導主事 関 敦巳	神奈川 新潟
2		中学校	栃木県教育委員会 指導主事 柴 栄	千葉 静岡
3	「対話的な学び」に向けた授業改善 子ども同士の協働やさまざまな対話を基に、作品の主題がより明確になったり自分の価値観が広がったりしたことを感じたとき Keyword よさを認め合ったり批評し合ったりする交流の場の設定、視点を明確にした話し合い活動、共通事項に基づいた振り返り、刺激し合う場づくり	小学校	宇都宮大学 共同教育学部 准教授 本田 悟郎	埼玉 山梨
4		中学校	文星芸術大学 教授 駒田 郁夫	東京 茨城
5	「深い学び」に向けた授業改善 これまでの学びがつながったり、学んだことが生活や社会をよりよくすると感じたりしたとき Keyword 造形的な見方・考え方のポイントを絞った授業づくりと振り返り 自分の学びを実感する振り返り、系統性や連続性を意識した題材、社会や地域とのつながりを意識した題材	小学校	宇都宮市教育委員会 指導主事 高橋 浩史	東京 群馬
6		中学校	芳賀町教育委員会 指導主事 松本 薫	神奈川 長野

指導講評

文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官 小林 恭代 氏
 文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官 平田 朝一 氏

ライトキューブ宇都宮について



- ・改札口からメインエントランスまで徒歩 約2分と駅直結の全国有数のアクセス性
- ・2,000人が収容可能な平土間の大ホールを備えた北関東初の会議中心型のコンベンション施設
- ・小規模な会議から大規模な学会までの多様な用途の催事に対応可能
- ・新国立競技場の設計者である隈研吾氏を含めた設計企業体による大谷石を活用した宇都宮の顔となる魅力的なデザイン



ライトキューブ宇都宮

<https://light-cube.jp/>

主催・共催 関東甲信越静地区造形教育連合
 栃木県小学校教育研究会図画工作部会
 栃木県中学校教育研究会美術部会
 後援 文部科学省 栃木県教育委員会(予定)

大会事務局

〒320-0912 栃木県宇都宮市石井町2800-42
 宇都宮市立陽東中学校 副校長 五月女正明
 g mail t877603@g.ueis.ed.jp
 お問い合わせはメールでお願いします